

I. 次の文章を読み、下記の問いに答えなさい。

1980年代のインドでは、マクロ経済の不均衡が拡大した。特に外貨準備は、1991年の (1) (2) による原油高などの影響を受けて払底寸前であった。未曾有の経済危機と元首相の暗殺という不透明感が漂う中で行われた1991年総選挙に勝利した国民会議派政権は、後に2004年から首相を務めることになる (3) (4) を財務相に据え、IMF＝世界銀行の構造調整借款を受けて経済改革を断行し、以後今日に至るまで急速な経済成長を実現し、新興経済国のひとつとして注目を集めている。しかし、貧富の格差と大量の貧困層の存在、機会の不平等は今日のインド社会においても克服すべき課題であり続けている。長い歴史の過程で形成されてきた身分＝階級制度は、その要因のひとつと考えられている。

前1500年頃インド＝ヨーロッパ語系の遊牧民が南下し、インダス川流域の (5) (6) 地方に進入し、農耕に従事する先住民と交わり、定住農耕社会を形成した。彼らは、自らを「高貴な」民族を意味する (ア) 人と称した。彼らの神々への賛歌を集めて前1200年から前1000年に成立したと推定される (7) (8) に記されているように、彼らは、肌の色の違いで支配者＝被支配者の区別を示し、先住民を「黒い肌のもの」と呼んで支配した。農耕社会の成立とともに、自然災害から住民を守るための祭祀の重要性が高くなり、生産に携わらない司祭や王侯＝武士階級が生まれた。(ア) 人が形成した身分＝階級の仕組みは、色を意味する (イ) と呼ばれる。(a) この制度のもとでは、聖典を伝承し、祭祀を司る司祭には最高の身分が与えられた。一方で、支配下に置かれた先住民と農耕、牧畜に従事するものは、第四の身分である奉仕階級に隷属した。

前6世紀頃に繁栄した (9) (10) 国などの都市国家では、武士、商人の支持を背景にして (b) 新しい二つの宗教が生まれた。(イ) 制の土壌でもあるバラモン教にも祭祀至上主義を否定して内面の思索を重視した (11) (12) 哲学に代表される改革運動が起こり、民間信仰を吸収して今日のインドで人口の約80パーセントが信仰する宗教である (ウ) がめばえてきた。(ウ) の浄・不浄の観念が発達するにつれ、第四の (イ) に属するもののうち、排泄、血、死などにかかわる職業に従事するものが、(イ) の枠外の不可触民という最低の身分に落とされた。

インド社会には、通婚、水のやり取り、共食の範囲を限定し、職業の継承体として機能する (13) (14) と呼ばれる集団単位が存在する。不可触民を除くおのおの (13) (14) が、固定的ではないが唯一の (イ) と結びついて形成された複雑な社会制度は、カースト制として知られているが、この名称は (15) (16) 語で血統を意味するカスタに由来し、インド航路発見後、インドの身分＝階級制度に限定して使われるようになった。

13世紀のはじめから北インドに続けて成立したイスラームの諸王朝である (c) デリー＝スルタン朝も、1526年に (17) (18) の戦いに勝利して (19) (20) が築いたムガル帝国も、そして (d) インドを植民地統治したイギリスも、カースト制を廃止することなく、カースト制をその支配制度に巧みに組み込んでいった。特に、イギリス植民地下のインドでは国勢調査などが繰り返され、職業的戦闘集団や窃盗集団、不可触民の特定化が促進された。独立を目指す (e) 反英運動が高まるなか、イギリスは不可触民を特別扱いしたり、(f) 宗教対立を煽ったりすることによってインド社会の分裂を試みた。インドは1947年に (21) (22) と分離する形でイギリスから独立し、不可触民を出自とする反カーストの社会活動家である (23) (24) を草案起草委員会委員長として、1950年にインド (25) (26) を発布した。その第17条は不可触民制の撤廃を謳っているが、貧困と機会の不平等は今日のインド社会においても解消すべき課題として残されている。

問1 文中の空欄 (1) (2) ～ (25) (26) にあてはまる最も適当な語句を下記の語群から選び、その番号を解答用紙A（マークシート）の解答欄 (1) ～ (26) にマークしなさい。

- | | | | |
|--------------|--------------|----------------|-----------------|
| 11 アクバル | 12 アンベードカル | 13 イラク戦争 | 14 イラン＝イラク戦争 |
| 15 ウパニシャッド | 16 英 | 17 オランダ | 18 ケララ |
| 19 憲法 | 20 シャー＝ジャハーン | 21 ジャーティ | |
| 22 スーフィー | 23 スリランカ | 24 ドヴァーラヴァティー | |
| 25 統治法 | 26 独立法 | 27 ネパール | 28 パキスタン |
| 29 バクティ | 30 パーニーパット | 31 バーブル | 32 パルティア |
| 33 パンジャーブ | 34 パーンディヤ | 35 プラッシー | 36 フランス |
| 37 ポルトガル | 38 マガダ | 39 マハティール | 40 マハーバーラタ |
| 41 マハーラーシュトラ | | 42 マンサブダール | 43 マンモハン＝シン |
| 44 ミット | 45 モハーチ | 46 モハンダス＝ガンディー | |
| 47 ラジブ＝ガンディー | | 48 ラーマヤナ | 49 ラーム＝モハーン＝ローイ |
| 50 リグ＝ヴェーダ | 51 湾岸戦争 | | |

問2 文中の空欄 (ア), (イ), (ウ) に当てはまる最も適当な語句を解答用紙Bの所定の欄に記入しなさい。

問3 下線部 (a) ～ (c) について下記の設問 (1) ～ (3) に答えなさい。

(1) 下線部 (a) について、基本的な四つの身分を身分の高い順に左から正しく並べたものはどれか。以下の1～4の中から選び、解答用紙A（マークシート）の解答欄 (27) にマークしなさい。正解がない場合は5をマークしなさい。

- | | |
|---------------------------|---------------------------|
| 1 バラモン、クシャトリア、シュードラ、ヴァイシャ | 2 バラモン、クシャトリア、ヴァイシャ、シュードラ |
| 3 ブラフマナ、ダリト、ヴァイシャ、シュードラ | 4 ハリジャン、バラモン、クシャトリア、ヴァイシャ |

(2) 下線部 (b) について、ガウタマ＝シッダールタは (あ), ヴアルダマーナは (い) を開いた。(あ) と (い) に当てはまる宗教名を解答用紙Bの所定の欄に記入しなさい。

(3) 下線部 (c) のデリー＝スルタン朝について、成立した年代の古い順に左から正しく並んでいるものはどれか。以下の1～4の中から選び、解答用紙A（マークシート）の解答欄 (28) にマークしなさい。正解がない場合は5をマークしなさい。

- | | |
|----------------------|---------------------|
| 1 トウグルク朝、ハルジー朝、ロディー朝 | 2 奴隷王朝、サイイド朝、ハルジー朝 |
| 3 奴隷王朝、ロディー朝、サイイド朝 | 4 奴隷王朝、トウグルク朝、ロディー朝 |

問4 下線部 (d) について下記の設問 (1) ～ (3) に答えなさい。

(1) 植民地政府が最大の収入源である地税の徴収に関して導入した土地制度は、伝統的なカースト間の関係を変化させることにもなった。おもに南インドで実施され農民に土地保有権を与え、農民から直接徴税する仕組みの名称は、以下のどれであるか。その番号を解答用紙A（マークシート）の解答欄 (29) にマークしなさい。

- | | | |
|----------|--------------|------------|
| 1 イクター制 | 2 エンコミエンダ制 | 3 ザミンダーリー制 |
| 4 ティマール制 | 5 ライヤットワーリー制 | |

(2) かつて世界有数の手織り綿布の生産地であったインドは、19世紀はじめにはイギリス製綿布の市場と原材料綿花の供給地へと変貌してしまった。その理由となったイギリス国内の生産技術的要因について解答用紙Bの所定の欄に25字以内で説明しなさい。

(3) (2) のような経済的沈滞状況の中で、ムガル帝国を滅亡させ、東インド会社を解散させる要因のひとつとなったインド人の反乱を何と呼ぶか。解答用紙Bの所定の欄に記入しなさい。

問5 下線部(e)と(f)について、下記の設問(1)と(2)に答えなさい。

- (1) 下線部(e)について、1919年にインド人に対する令状なしの逮捕、裁判ぬきの投獄を認めた弾圧的な法律が公布され、この法律に抗議するアムリットサルにおける集会でイギリス軍が民衆に対して発砲し多数の死者を出したことが、後の反英運動を激しくした。この法律の名前を解答用紙Bの所定の欄に記入しなさい。
- (2) 下線部(f)について、独立運動の中心である国民会議派に対抗させるために、イギリスの指導で結成された(あ)団体の名前と、(い)この団体の指導者で1947年にインドと分離独立した自治領の初代総督になった人物の名前を解答用紙Bの所定の欄に記入しなさい。

II. 次の文章を読み、下記の問いに答えなさい。

一般に学問の誕生時期を特定するのは難しいが、諸君が商学部に入學したら学ぶ「マーケティング」は、第一次世界大戦後と第二次世界大戦の間のアメリカの大衆消費社会の中で発展したことに異論はないだろう。ここではその背景と大衆消費社会の実態を見ていこう。

まず世界経済規模での背景として第一次大戦を通じてアメリカは世界最大の債権国になり、大戦後に資本主義の中心が^(a)ロンドンからニューヨークに移動したことがあげられる。第一次大戦後、(30) (31) 条約により膨大な賠償金を課せられたドイツは、その支払いに苦慮しアメリカに仲介を求めた。当初アメリカは(32) (33) 主義の立場から仲介に消極的だったが、1923年、フランスがドイツの(34) (35) を占領し対立が深刻になるに至り、仲介案を提示した。いわゆる(36) (37) 案である。これによりフランスは撤退しドイツ経済は急速に再建され、同時にその賠償金が戦勝国にわたり、対米債務返済にあてられた。アメリカに資本形成がなされたといえるだろう。

政治的背景では保守色の強い(38) (39) 党の^(b)大統領が3代続き、これらの政権が「アメリカのビジネスはビジネスである」という信念のもと、対外的には海外での市場を拡大するために自由放任政策と高率保護関税政策を上手く使い分けていたことが大きい。国内においては大企業保護策をとるとともに、^(c)低賃金労働者となる移民に制限をかけ、自国民の職を確保することにも力を入れた。

こうした背景で誕生した大衆消費社会の一番の特徴は自動車の普及である。(40) (41) という生産技術で作られた(42) (43) 社のモデルTの普及は、郊外の都市化と都市人口の増大を推進し、その購買力に対応するため、^(d)百貨店をはじめとする多くの小売店が都市に現れた。これらの大量生産された商品の消費には月賦販売や広告が大きな役割を果たした。この時代はまさにマーケティングの発展時期といえるだろう。

技術進歩は生産技術だけではなく、新たなメディアをも作り出した。1920年に始まった(44) (45) 放送は、この時代の音楽やスポーツの流行に寄与した。具体的には黒人音楽から発展した(46) (47) や野球中継の広がりであり、(48) (49) などの新たなスポーツヒーローの誕生や都市大衆文化が広がる原動力になった。これらの娯楽は^(e)ワスプ(WASP)と呼ばれる白人中産階級に広く受け入れられた。また映画は1920年代末には世界の映画の(50) (51) %を供給し、^(f)鉄鋼や自動車と並ぶ産業になった。さらに技術進歩による家庭電化製品の普及は女性の家事労働軽減を推し進め、自由で解放され

た女性たちが都市を中心に現れた。この時代に実現した^(g)女性の政治への参加もそれを後押しした。

このように1920年代のアメリカは大量生産・大量消費の時代になったが、すべてのアメリカ人がこのような生活を享受できたわけではない。とくに大都市の低所得者層の生活は貧しく苦しかった。またアメリカ型の大衆文化や大量生産・大量消費に対する批判もあった。

(52)

(53)

の「西洋の没落」がベストセラーになったのも、こうした状況の反映であり、

(54)

(55)

が映画「モダン＝タイムス」で新たな生産方式を暗に批判したのもこれにあたる。

いずれにしてもマーケティングはアメリカの大量消費社会で発展してきたことは間違いない。そういう視点で見れば高校までの勉強も大学での勉強につながるだろう。

問1 文中の空欄

(30)

(31)

 ～

(54)

(55)

 にあてはまる最も適当な語句や数字を下記の語群から選び、その番号を解答用紙A（マークシート）の解答欄

(30)

 ～

(55)

 にマークしなさい。

- | | | | |
|----------------|-------------|---------------|--------------|
| 11 45 | 12 65 | 13 85 | 14 GM |
| 15 アルザス＝ロレーヌ地方 | | 16 ヴェルサイユ | 17 衛星 |
| 18 ガーシュウィン | 19 カンバン方式 | 20 共和 | 21 孤立 |
| 22 ザクセン地方 | 23 サン＝ジェルマン | 24 ジャズ | 25 重商 |
| 26 シュペングラー | 27 セーブル | 28 セル方式 | 29 ダレス |
| 30 チャップリン | 31 ディズニー | 32 テレビ | 33 ドーズ |
| 34 流れ作業方式 | 35 ハンク＝アーロン | 36 フォード | 37 フォルクスワーゲン |
| 38 ベーブ＝ルース | 39 ヘミングウェイ | 40 マックス＝ウェーバー | |
| 41 民主 | 42 民族 | 43 モハメド＝アリ | 44 ヤング |
| 45 ラジオ | 46 ラップ | 47 ルール地方 | 48 労働 |
| 49 ロック | | | |

問2 下線部（a）について、金融の中心はロンドンのどこからニューヨークのどこへ移ったか。解答用紙Bの所定の欄に記入しなさい。

問3 下線部（b）について、この3代の大統領名を就任順に解答用紙Bの所定の欄に記入しなさい。

問4 下線部（c）について、1924年の移民法の特徴を解答用紙Bの所定の欄に35字以内で説明しなさい。

問5 下線部（d）について、世界で最初の百貨店は1852年にパリで発祥したと言われている。それは次のうちどれか。その番号を解答用紙A（マークシート）の

(56)

 にマークしなさい。

- | | | |
|-----------|--------|-----------|
| 1 オ・プランタン | 2 ハロッズ | 3 ボン・マルシェ |
| 4 メーシーズ | 5 シアーズ | |

問6 下線部（e）について、アイルランド系、イタリア系の移民は通常ワスパ（WASP）に入らない。その理由を解答用紙Bの所定の欄に25字以内で説明しなさい。

問7 下線部（f）について、貧しいスコットランド系の移民から努力してのちに「鉄鋼王」と呼ばれるようになったのは誰か。解答用紙Bの所定の欄に記入しなさい。

問8 下線部（g）について、欧米各国で女性参政権は次々と導入されていったが、アメリカ、イギリス、フランスで、女性参政権が導入された順番を、解答用紙Bの所定の欄に記入しなさい。

Ⅲ. 次の文章を読み、下記の問いに答えなさい。

ギリシアの財政危機に端を発するユーロ安や、先行き不透明なアメリカ経済を反映するドル安などに見られるように、通貨に対する信頼が揺らいでいる。その一方、価格が上昇しているのは金である。ロンドンにおけるドル建ての金価格は2005年に比べて2010年半ばには倍以上に値上がりしている。現在では主要国の通貨と金は結びつけられていないが、人々は変わらず金に引き寄せられている。世界史においても、金は歴史を動かす原動力のひとつであった。ここでは人間と金のかかわりを簡単に見てみよう。

金は世界のさまざまな地域で価値のある金属とみなされていた。そして、その用途は貨幣のみに限られていたわけではない。たとえば古代のエジプトにおいて、金は太陽神 (57) (58) の肌であると考えられ、太陽神の子とされたファラオの王墓の副葬品には多くの金が使われていた。つまり、金は宗教的な意味を持っていたわけである。アメリカ大陸においても、1521年に (59) (60) に破られたアステカ帝国や、1533年に (61) (62) によって滅ぼされたインカ帝国でも金は宗教と強く結びつけられたり、装飾品として使用されたりしていた。

世界で最初に貨幣が鋳造されたのは、^(a)前7世紀で、アナトリア西部に建国され、イオニア地方のギリシア人諸都市を勢力下に置いた (63) (64) においてだと言われている。この貨幣は金と銀の合金でできていた。その後、ギリシア人も貨幣を鋳造するようになった。ローマ帝国においては、313年の (65) (66) でキリスト教を公認した (67) (68) 帝がソリドゥス金貨を創設して、金貨を基軸通貨とする地中海交易の安定をはかった。この金貨はビザンツ帝国にも受け継がれた。

イスラーム世界では、7世紀終わりから8世紀はじめにかけて (69) (70) 朝カリフであったアブドゥルマリクによる通貨改革が成功すると、(71) (72) 金貨の流通地域が徐々に広がっていった。イスラーム世界への金の供給源は複数あり、そのひとつは大量の金が使われていたファラオの王墓であった。西アフリカも金の産地として知られており、ガーナ王国とイスラーム世界の間は金とサハラの (73) (74) を交換する交易が盛んであった。マグリブ地域に (75) (76) 人が建てたムラービト朝が11世紀後半にガーナ王国を攻撃し、同王国が衰退すると、西アフリカのイスラーム化が進むとともに、イスラーム世界に金が大量に流入した。このためムラービト朝首都の (77) (78) をはじめとする多くの都市が繁栄した。また、西アフリカに建国されたマリ王国最盛期の王である (79) (80) はメッカ巡礼の際に大量の金を消費し、金の価格が暴落したとされる。

19世紀になると、世界各地で金鉱が発見され、金の生産量が飛躍的に伸びた。そして、金が発見された場所は政治的にも大きな変化を経験した。1848年にカリフォルニアで金鉱が発見されると世界中から移民が殺到し、人口が激増した。このため1850年にカリフォルニアはアメリカ合衆国31番目の州になった。1850年代にはイギリス植民地の (81) (82) でもゴールドラッシュが起り、カリフォルニア同様人口が急激に増加した。このためもあり、(81) (82) は1901年に^(b)自治領となった。また、^(c)南アフリカでは19世紀中頃にブール人が建設した (83) (84) やオレンジ自由国で金や (85) (86) が発見された。このため両国は^(d)19世紀末にイギリスによる侵略を受け、最終的にはイギリス領となった。

19世紀はじめから第一次世界大戦勃発までの一世紀は、金本位制の時代だと言える。西欧諸国の中で最初に金本位制に移行したのは、^(e)世界的な分業体制における事実上の覇権を確立したイギリスで、1816年にソブリン金貨を鋳造し、これを法定通貨とした。その後、1870年代には他のヨーロッパ諸国やアメリカ合衆国が相次いで金本位制に移行し、19世紀末には^(f)インドや日本も金本位制に移行した。しかし、第一次世界大戦や世界恐慌を経験する中で各国は金本位制を停止したり金本位制に復帰したりと、金本位制は揺らいだ。最終的に、イギリスの (87) (88) 内閣が1931年に金本位制を停止したほか、1930年代後半までには全ての国が金本位制から離脱した。

1944年に第二次世界大戦後の国際金融や経済協力の枠組みが話し合われたが、そこでは^(g)米ドルを基軸通貨とすることが決められた。この理由のひとつとして、当時のアメリカ合衆国が世界の金の(89) (90) 割近くを保有していたことが挙げられる。この体制は、会議が行われた場所にちなんでブレトン＝ウッズ体制と呼ばれていたが、1971年の(91) (92) により終わりを迎えた。

上述の通り、現在では金は主要通貨と結びつけられてはいない。しかし、カナダやオーストリアが発行している金貨が資産として国際的に広く取り引きされているなど、金の重要性は失われていない。

問1 文中の空欄(57) (58) ～ (91) (92) にあてはまる最も適切な語句や数字を下記の語群から選び、その番号を解答用紙A（マークシート）の解答欄(57) (92) にマークしなさい。

- | | | | |
|----------------|-----------------|----------------|--------------|
| 11 5 | 12 6 | 13 7 | 14 アタナシウス |
| 15 アッパース | 16 アマルナ | 17 アラブ | 18 ウガリット |
| 19 ウマイヤ | 20 エフェソス公会議 | 21 オイル＝ショック | 22 オーストラリア |
| 23 カサブランカ | 24 カナダ | 25 カネム＝ボルヌー | 26 カブラル |
| 27 岩塩 | 28 絹 | 29 銀 | 30 ケープ植民地 |
| 31 胡椒 | 32 コルテス | 33 コルドバ | 34 コンスタンティヌス |
| 35 錫 | 36 ダイヤモンド | 37 ディオクレティアヌス | |
| 38 ディナール | 39 ディルハム | 40 トランスヴァール共和国 | |
| 41 ドル＝ショック | 42 ナタール | 43 ニケーア公会議 | 44 ヌビア |
| 45 ネヴィル＝チェンバレン | | 46 バイバルス | 47 バルボア |
| 48 ピサロ | 49 ヒッタイト | 50 ファーティマ | 51 ファルス |
| 52 プラザ合意 | 53 ベルベル | 54 ホルド | 55 マガリャンイス |
| 56 マクドナルド挙国一致 | | 57 マラケシュ | 58 マラヤ |
| 59 マンサ＝ムーサ | 60 ミラノ勅令 | 61 ラー | 62 ラス＝カサス |
| 63 リディア | 64 ロイド＝ジョージ挙国一致 | | |

問2 下線部(a)～(g)について以下の設問(1)～(7)に答えなさい。ただし、解答はすべて解答用紙Bの所定の欄に記入すること。

- (1) 下線部(a)について、前7世紀のオリエント世界は四つの王国が分立していたが、その前後の時代は世界帝国によって統一されていた。その二つの世界帝国の名前を、古いものから順に解答欄に記入しなさい。
- (2) 下線部(b)について、イギリスは植民地によって直接支配を行ったり、自治領にして間接支配を行ったりしたが、イギリス自治領の地位を定めた1931年に制定された法律を何というか、解答欄に記入しなさい。
- (3) 下線部(c)について、1870年以降、南アフリカで金など鉱物資源の採掘権を独占し、ケープ植民地の首相にもなったイギリスの企業家の名前を解答欄に記入しなさい。
- (4) 下線部(d)について、この戦争の名前を解答欄に記入しなさい。
- (5) 下線部(e)について、当時世界の工場と言われたイギリスは、自国の工業製品を輸出するために対外的に自由貿易を推し進めていったが、自由貿易主義を提唱したアダム＝スミスやリカードの経済学は何と呼ばれているか、解答欄に記入しなさい。
- (6) 下線部(f)について、インドや日本などアジアの国々が金本位制に移行する中で中国だけは銀本位制を維持した。中国が銀本位制を放棄したのは1930年代中頃だが、この時新たに法定通貨となったのは何かを3字以内で解答欄に記入しなさい。
- (7) 下線部(g)について、ドル、各国通貨、金の関係はどうなっていたのかを35字以内で解答欄に記入しなさい。